



とどけ復興への願い！東日本大震災の年生まれの小学1年生が育てた“ひまわり” 「ど根性ひまわり写真展」を開催（10/15～10/21）

龍ケ崎市民生委員児童委員連合協議会（三浦 能 会長）では、民生委員制度創立100周年を記念する事業の一環として、東日本大震災の年に生まれた子どもたちが、昨年度と今年度に小学校へ入学したことに合わせ、2か年計画で「ど根性ひまわり写真展」を開催。今年度は平成30年10月15日から21日までショッピングセンターサブラ1階「光のモール」で開催します。

「ど根性ひまわり」とは、東日本大震災の被災地である宮城県石巻市門脇地区のガレキの中に、一輪の花を咲かせたひまわりのことです。

協議会では、その子孫の種を震災の年に生まれた龍ケ崎市内の小学1年生約600名に配布し、子どもたちの手で各家庭と本市中里にある「さんさん館」の花壇に種をまき、夏の開花まで育て上げました。

写真展では、東日本大震災の記憶を引き継ぎ、「ど根性ひまわり」のように子どもたちにたくましく成長してほしいとの願いを込め、子どもたちが育てあげ、見事に大輪の花を咲かせたひまわりを撮影し、応募された写真60点以上を展示します。

■日 時	平成30年10月15日(月)から21日(日) 午前10時から午後8時まで
■場 所	ショッピングセンターサブラ 1階 光のモール (所在地:龍ケ崎市小柴 5-1-2)
■主 催	龍ケ崎市民生委員児童委員連合協議会
■資 料	・企画概要 ・写真展作品募集チラシ

担当課	龍ケ崎市 福祉部 社会福祉課 社会福祉推進グループ 担当者：名島・大森（なじま・おおもり） 連絡先：0297-60-1528（直通）
-----	--